

2010年10月

環境・CSR・サステイナブル経営に取り組まれている企業・組織の
ご担当 各位

特定非営利活動法人 環境経営学会
副会長 木俣 信行

「サステイナブル経営診断2010」（通算第9回）のご案内

拝啓 爽秋の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より私どもの学会活動へのご理解とご関心をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

さて、私ども特定非営利活動法人環境経営学会は、活動の一環として、科学技術振興機構の助成を受けて研究開発した経営評価システムを駆使して、これまで、「環境経営格付」、「サステイナブル経営診断」などとして、通算8回にわたり、持続可能な社会の構築に貢献する組織経営に取り組む主要な企業の皆様と共同で、環境経営・サステイナブル経営評価活動を実施してまいりました。

学会では、こうした活動の実績および学会における研究結果を踏まえるとともに、近く発行される組織の社会的責任に関する国際ガイドライン「ISO26000」も斟酌して評価体系を改善し、このたび通算第9回となる「サステイナブル経営診断2010」を実施することといたしました。

つきましては、「サステイナブル経営診断2010」の狙いや特徴、評価体系、実施方法、活動スケジュールなどについてご説明いたしたく、下記のとおり説明会を開催させていただきます。ご多用中とは存じますが、多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

記

「サステイナブル経営診断2010」説明会の開催要領

I 日時、会場

日時:(1回目)平成22年11月2日(火)10:00~12:00

(2回目)平成22年11月5日(金)13:30~15:30

会場:千代田区立「九段生涯学習館」(千代田区九段南 1-5-10 TEL:03-3234-2841)

II 内容:「サステイナブル経営診断2010」の狙いと特徴、今後のスケジュール、参加費など

III 説明員:環境経営学会 理事

IV 説明会参加費:無料

V 参加お申込:会社名、参加者名、希望日を記載の上、Eメールにて申し込みください。

特定非営利活動法人環境経営学会 経営診断推進委員会

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-15-5-506

e-mail: smf@smf.gr.jp

電話 03-6272-6413

ファックス:03-6272-6414

説明会会場「九段生涯学習館」付近図



2010年10月18日

サステイナブル経営診断2010（通算第9回） 募集要項

特定非営利活動法人 環境経営学会
(Sustainable Management Forum of Japan)
会長 山本 良一

私ども環境経営学会は2000年の発足以来現在に至るまで、企業・組織が環境対応や社会対応を十分に果たしながら発展し続けていくために、いかなる課題に取り組まなければならないかを明確にするために、日本の第一線の企業と協働して研究してまいりました。

新しい時代は企業経営が産業革命以来経験したことのないような試練をすべての経営者に課すものです。それは大気や土壌、水の汚染対策に始まり、現在では省エネルギー、地球温暖化、人権、企業モラルなどきわめて多岐にわたる新しい課題を抱えているだけでなく、企業は社会環境や地球環境を改善、再生し、持続可能な社会の構築のために相応の社会的な貢献を為すことを期待されるに至っております。

このような状況を踏まえ、学会では、企業・組織の経営や環境問題に関心を寄せる研究者、専門家、企業人など産学一体となって、持続可能な社会の構築に貢献する組織経営のあるべき姿を描き、これに沿った経営行動を詳細に記述し、「環境経営格付」、「サステイナブル経営診断」として通算8回、主要な企業、述べ250社の皆様との協働により経営評価を実施してまいりました。

このたび、これまでの成果や学会の研究成果、更に近く発行される「ISO26000」のガイドラインも参照して改善を行い、「サステイナブル経営診断2010」として実施するべく、現在準備中であります。

特定非営利活動法人である学会が、研究者、経営者や企業出身者、一般市民、などの広い層からなるボランティアを統合してこのような活動をしている例は他にありません。企業・組織経営に当たられている皆様のご理解とご支援を切に期待する所以であります。

このサステイナブル経営診断2010へのご参加企業に提供される学会の知的財産または効用は、参加パターン(下記「3」参照)によって範囲は異なりますが、全体としては次の通りです。

- ① サステイナブル経営診断2010「経営評価調査票」及び「経営評価手引き」
- ② サステイナブル経営研修会への出席
- ③ エビデンス確認・評価のためのヒアリング／経営トップインタビューを通じての情報交換
- ④ 評価項目別評価結果と「サステイナブルマネジメント・ツリー図」及び「総合評価書」
- ⑤ ツリー図の学会公式ホームページへの掲載、環境経営学会研究報告大会での発表、公表
- ⑥ 総合評価で高い水準と評価された企業には、環境経営学会の認証マークのご使用が認められます。

つきましては、環境経営、CSR経営、サステイナブル経営に取り組まれておられる企業の皆様には、本学会の「サステイナブル経営診断2010」に是非ご参加いただき、経営診断、経営改善にお役立ていただくようご案内申し上げる次第であります。詳細は下記のとおりであります。

1. サステイナブル経営診断活動の概要

- ① 経営研修会の開催(12月上旬 東京、大阪):持続可能な社会の構築に貢献するために、企業に求められている環境問題、社会的責任への取組みの方向性、あり方に係わる経営評価システム等について、「経営評価調査表」、「手引き」を教材に、経営研修会を開催
- ② 経営診断の手順:
 - ・ 参加企業・組織は「経営評価調査票」と「手引き」により自己評価し、学会に提出していただく。
 - ・ 企業の自己評価結果に対して、第三者として公平な立場で経営評価委員が企業・組織側にヒアリングし、エビデンスを確認し、さらに学会幹部による経営トップインタビューを実施、サステイナブル経営理念等を確認し、第1次経営評価を実施する。
 - ・ 第1次経営評価結果について、妥当性・公平性・公正性を担保するために、判定委員会で審査して最終評価・診断を決定。「サステイナブルマネジメント・ツリー図」に表現する。
 - ・ サステイナブル経営「総合評価書」を作成、ツリー図と共に参加企業にご報告する。
- ③ 結果の公表
経営診断参加企業の取組み状況について広く社会全体に周知するために、原則としてマスメディアに公表し、学会ホームページ上にサステイナブルマネジメント・ツリー図を掲載する。

2. 経営診断2010の概略スケジュール(予定)

2009年10月:サステイナブル経営診断2010 参加企業募集開始

11月上・中旬:説明会(第1回11月2日、第2回11月5日)

12月上旬:経営研修会開催(東京:第一回12月 6日午後、7日午前、
第二回12月13日午後、14日午前

大阪: 12月 8日)

12月:ご参加パターン(タイプⅠ、Ⅱ、Ⅲ)の決定

12月:組織・企業の自己評価開始

2010年1月末:自己評価調査票提出締め切り

- | | | |
|-------|---|-----------------------------------|
| 2月～3月 | : | 学会の経営評価委員による分析、ヒアリング、経営インタビュー |
| 4月 | : | 経営評価委員による経営評価・診断終了、判定委員会始動、 |
| 4月下旬 | : | 経営診断結果の企業への通知／提訴委員会始動 |
| 4月下旬 | : | 経営診断結果確定、3点セット(総合評価書、調査票、ツリー図)ご報告 |
| 5月～6月 | : | 学会年次研究発表大会において結果発表(メディア)／活動終了 |

3. 参加パターンと参加費

経営診断活動については学会会員を中心としたボランティア活動として進めますが、旅費、通信費、印刷費など活動の原資としての次の参加費を申し受けます。

- ・タイプⅠ : 経営診断のフルメニュー参加(①経営研修会、②全評価項目評価/診断、③経営評価委員によるヒアリング、インタビュー等、④3点セットのご報告)
:参加費20万円(初参加の場合 参加費25万円)

- ・タイプⅡ : 経営診断の部分参加(①経営研修会、②企業を選択する項目の評価/診断、③経営評価委員によるヒアリング、インタビュー等はオプション、④ツリー図を除きご報告)
:参加費15万円

- ・タイプⅢ : 経営研修会へのご参加(教材として、「経営評価の手引き」等経営診断ツール使用)
:参加費5万円

— 以上 —